

高齢者在宅ケアシステム論

単位数：2単位

- 原 祥子：地域・老年看護学講座教授
谷垣静子：岡山大学大学院保健学研究科教授
高山成子：金城大学看護学部教授
三輪恭子：よどきり医療と介護のまちづくり株式会社 取締役
まちケア事業部 部長（地域看護 CNS）
竹田裕子：地域・老年看護学講座講師

1. 科目の教育方針

高齢者・在宅療養者の健康生活をサポートしているケアシステムの現状を理解し、それらを活用するための理論と実際を学ぶ。また、専門的知識と理論に基づいて高齢者のサポートシステムを組織化する方法を修得し、サポートシステムを発展させることのできる能力を開発する。

2. 教育目標

- 1) 高齢者サポートシステム及び在宅ケアシステムの現状について理解できる。
- 2) ケアマネジメント実践の基礎的知識と理論に基づいたケアプラン立案と実施・評価までの一連の実践方法を学ぶ。
- 3) 高齢者・在宅ケアにおける連携システムづくりについて考察できる。
- 4) 病院・施設と在宅をつなぐ専門看護師の機能について理解できる。
- 5) 高齢者のサポートシステムを発展させる方法について考察できる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

【評価】

プレゼンテーション内容、討論での取り組みと貢献度、課題レポート等により総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

テキストは指定しない。参考文献等を適宜提示する。

【参考文献】

- 1) 宇都宮宏子，三輪恭子編：これからの退院支援・退院調整，日本看護協会出版会，2011.

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	地域ケアシステムと社会資源（概論） 身体・知的・精神の三障害とサービス体系 セルフヘルプグループ及びソーシャルサポートの理論と実際	谷垣
2	高齢者を取り巻く状況と高齢者サポートシステム わが国における地域包括ケアシステムと諸外国の状況	谷垣
3 (10/7)	ケアマネジメントの実践と理論 歴史的経緯と発展過程、ケアマネジメントの定義 構成要素と展開のプロセス	原
4 (10/7)		
5 (10/21)	介護保険制度とケアマネジメント 介護保険制度改革の概要 要介護認定の理論的根拠、介護ニーズの客観的評価	竹田
6 (10/21)		
7 (10/28)	インフォーマルサポートの種類・機能とその活用 インフォーマルサポート・ネットワークの現状と課題	原
8 (10/28)	高齢者・在宅ケアにおける連携とチームアプローチ 超高齢社会における地域包括ケアシステムの構築と多職種連携・協働	原
9	高齢者の健康と生活を支えるための社会資源とサポートシステム 認知症高齢者に焦点をあてて	高山
10		
11	病院・施設と在宅をつなぐ専門看護師の機能 高齢者の在宅移行および在宅療養継続におけるアプローチ 退院支援の実際、事例検討 サポートシステムの組織化とその活用のあり方 チーム医療と Interprofessional Work (IPW)	三輪
12		
13		
14		
15	高齢者のサポートシステムを発展させる方法	原